

■ 2025 年度事業計画書 ■

一般社団法人日本キンボールスポーツ連盟

I 事業期間

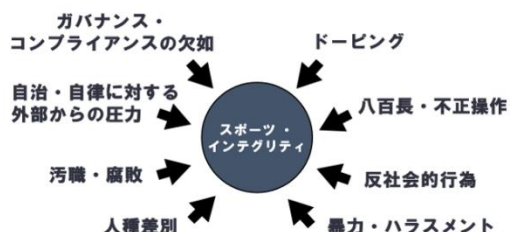
2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日

II 事業計画の前提

1. 基本方針

- ・キンボールスポーツがこれまで以上に広く社会に受け入れられるために、新しい事業および取組みに積極的にチャレンジしていく。また、他団体が実施するキンボールスポーツ関連の有益な事業においても、積極的に協力していく。
 - ・今まで継続してきた事業および取組みの検証を行い、効果的な事業および取組みを重点的に実施する。また、成果が充分ではないと思われるものは、数値目標を取り入れ、広報活動の徹底、当該地域の団体との協力など、意識改革と具体的な見直しを行う。
 - ・コロナ禍以降における会員、指導者、レフリーの大幅な減少などにより、活動のための費用が不足している。都道府県連盟や全国の愛好者、指導者との協働による体験会、講習会開催の強化、魅力のある資格特典の充実化等について担当委員会を中心として具体的な形にしていく。
 - ・新たな継続寄付クラウドファンディング・新規助成金の申請、新規協賛企業の獲得等による資金調達も模索していく。あわせて、経費に関して、社会経済情勢の変化等を踏まえ、これまでの慣例にとらわれず節減できるところがないか検討、対応を試みる。
 - ・スポーツ・インテグリティ※の保護・強化に向けた取組みを引き続き推進していく。不足している点を見定め、ガバナンスの強化に取組み、健全で適正かつ合理的な組織体制の整備を図る。
- ※スポーツ・インテグリティ＝「スポーツが様々な脅威により欠けるところなく、価値ある高潔な状態」

スポーツ・インテグリティを育かす要因



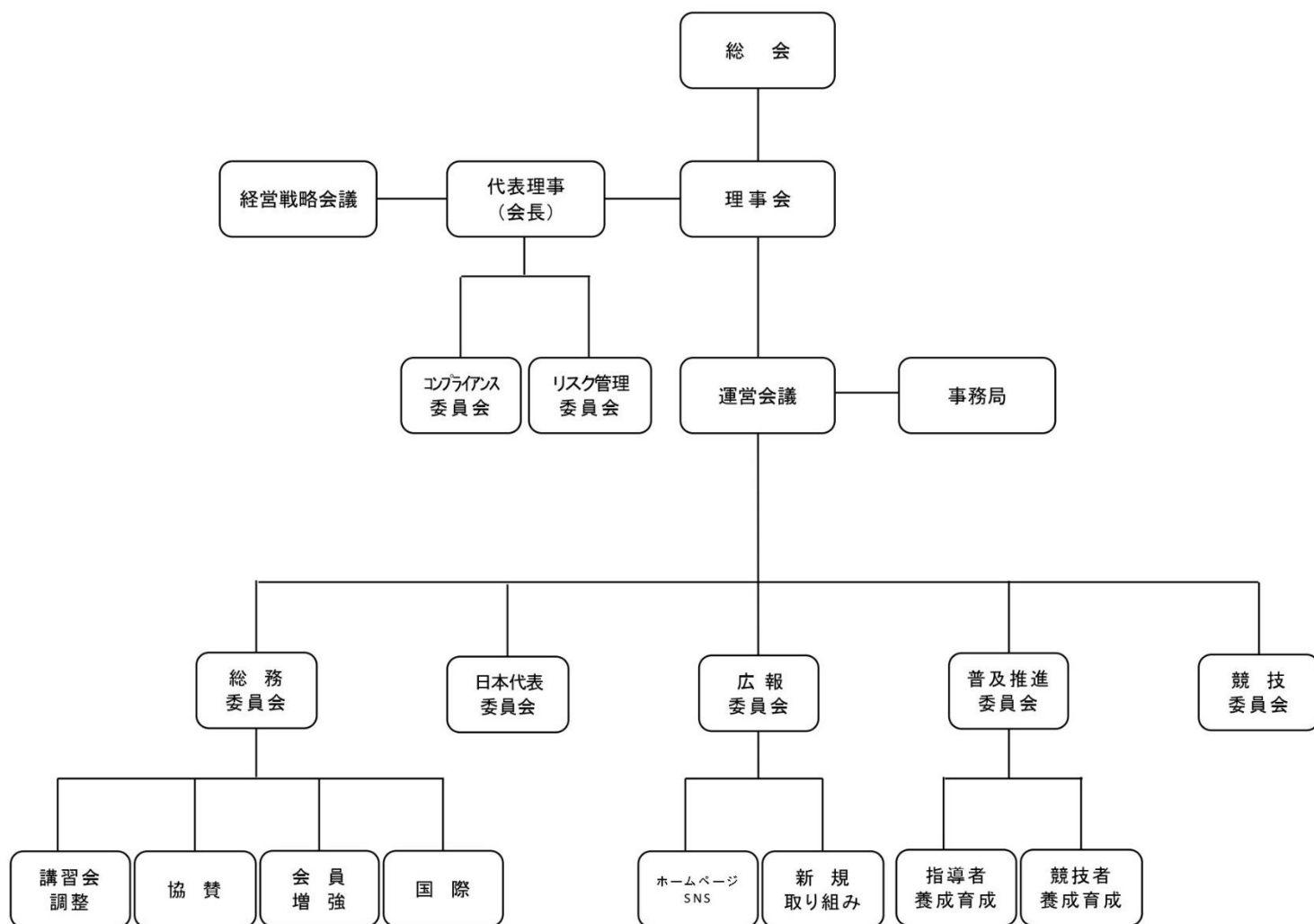
引用 独立行政法人日本スポーツ振興センターHP

<https://www.jpnsport.go.jp/corp/gyoumu/tabid/516/default.aspx>

2. 組織運営

- (1) 次世代へつなぐ当連盟の運営体制づくりのため、組織体制の継続的な見直しを行うとともに、年齢、競技歴を問わず最前線で指導的立場にある人材、優れた識見を有する人材、進取の気性に富んだ人材を登用することによって、組織全体の活性化を図る。将来を見越し、リーダーシップを発揮できる人材を育成する。
- (2) 総会、理事会で決定した事項の実施についての詳細は、運営会議で検討する。
- (3) 運営会議には役員、委員長、事務局が参加し、業務、任務にあたる。各委員会、事務局より運営会議に対して各種提案も行う。
- (4) 経営戦略会議において、中長期的経営の視点から安定した運営ができるように理事会に各種提案を行う。

● 2025 年度組織図



Ⅲ 事業別計画

1. 主催事業 計 32 事業

(1) 大会主催 2 事業

①全国大会

【事業名】第 26 回キンボールスポーツジャパンオープン・フレンドリーカップ

【場 所】千葉県立館山運動公園体育館（千葉県館山市）

【期 間】10 月 25 日（土）、26 日（日）

【備 考】※独立行政法人日本スポーツ振興センター令和 7 年度（2025 年度）スポーツ振興くじ助成事業申請中

②全国大会

【事業名】第 26 回キンボールスポーツジャパンオープン・チャンピオンズカップ

【場 所】駒沢オリンピック公園総合運動場体育館（東京都世田谷区）

【期 日】2 月 11 日（水祝）

【備 考】※独立行政法人日本スポーツ振興センター令和 7 年度（2025 年度）スポーツ振興くじ助成事業申請中

(2) 講習会主催 30 事業

【内 容】キンボールスポーツ体験の機会提供、ルール講習、指導者・レフリース養成、指導者・レフリース資格更新、移行、スキルアップ講習、愛好者のスキルアップ（ユース合宿、プレーヤー講習等）および各種試験

【場 所】全国

【対象者】一般希望者、愛好者、指導者、レフリース

【備 考】

①各地域の状況、希望に応じた内容の講習会を実施。状況に応じ、オンライン講習も実施。

②全国の都道府県連盟に呼びかけ、体験会・講習会開催を協働して行う。2022 年度からの指導者資格制度の移行も含め、指導者がレベル、年齢の違う幅広い対象者への指導を適切に行えるよう講習の受講、指導者資格の取得を促し、指導者の養成を行う。

※独立行政法人日本スポーツ振興センター令和 7 年度（2025 年度）スポーツ振興くじ助成事業申請中

2. 講師派遣事業

【内 容】キンボールスポーツ体験の機会提供、指導者・レフリース養成、指導者・レフリース資格更新(移行)講習、愛好者のスキルアップ

【場 所】全国

【対象者】一般希望者、愛好者、指導者、レフリース

【備 考】各主催者の希望に応じた内容の指導を行う。

3. 普及推進事業

(1) キンボールスポーツ学校導入プロジェクト

【内 容】

キンボールスポーツを継続して取り入れてもらえるよう、体験および見学場所等の手配や教員指導のための講師派遣を行う。あわせて、文部科学省「土曜学習応援団」への賛同・登録を行い、全国の学校等にあわせて教育プログラムの提供を行う。

【場 所】全国

【対象者】小学校、中学校、高等学校教員、保護者ほか

（２）加盟団体、会員への助成

【内 容】

- ①加盟団体（正会員である都道府県連盟）に対して、当該各都道府県在住者を中心とした普通会員所属者数に応じて会費還元金を各都道府県連盟に活動資金として支払う。
- ②加盟団体が大会・講習会開催、用具購入、その他普及・加盟団体運営活動に関して資金面で補助が必要な場合、会長に申請する。運営会議で審議後、必要に応じて補助・応援体制をとる。年に２回の申請時期を設ける。
- ③会員、加盟団体が大会・講習会開催、用具購入、その他普及活動に関して資金面で補助が必要な場合、会長に申請する。運営会議で審議後、必要に応じて補助・応援体制をとる。随時の申請が可能。

（３）広報

【内 容】キンボールスポーツのＰＲ活動

【備 考】

- ①広報誌（会報）の制作・発送（１回）。年度末から新年度初めに実施予定。
- ②公式ホームページの管理、運営。通年実施。
- ③各種公式ＳＮＳの管理、運営。通年実施。当連盟及び都道府県連盟の事業に関する広報業務を強化する。
- ④各種イベントおよび催しでの展示紹介。随時実施。
- ⑤種目紹介、普及用の競技要覧（ミニパンフ）の作成、配布。

※独立行政法人日本スポーツ振興センター令和７年度（2025年度）スポーツ振興くじ助成事業申請中

（４）キンボールスポーツパートナー、スポンサー、個人寄付者募集

【内 容】

- ①パートナー団体、企業の団体名、ロゴマーク、キャッチコピー等が入ったキンボールを講師派遣講習会や大会において優先使用し、パートナー団体、企業が当連盟の諸活動へ協力、協賛していることを参加者や観戦者等にアピールする。
- ②パートナーおよびスポンサー団体、企業の横断幕、ポスター、ポップアップ看板の掲示、資料並びにサンプルの配布ブースの提供などにより、協力・支援団体をアピールする。
- ③キンボールスポーツ日本代表オフィシャルスポンサーとして、ホームページ等にスポンサーのロゴマークなどを掲出しアピールする。
- ④継続寄付クラウドファンディングとして、普及推進、日本代表への継続的な寄付金募集をする事業を行う。計画に基づき、支援いただいた金額すべて（運営会社に支払う手数料、リターンに伴う経費及び管理事務経費を除く。）を普及推進活動、日本代表活動に使用する。本年度、リニューアルを予定。

【期 間】通年

（５）キンボールスポーツ普及協力

【内 容】キンボールスポーツの用具、備品レンタル

【備 考】希望者に対し用具、備品のレンタルを行う。

（６）グッズ企画

【内 容】備品等の新商品企画立案

【備 考】キンボールスポーツに関する備品の商品化を企画する。

4. 団体運営関連事業

(1) 諸会議

【内 容】当連盟運営、国際的なキンボールスポーツ普及等に関する事項についての審議

【備 考】

- ①定時社員総会 1回（6月21日）
- ②理事会 4回程度（5月25日、10月、3月）
- ③運営会議 年6回程度
- ④経営戦略会議 随時
- ⑤各委員会会議 随時
- ⑥国際連盟会議、アジア連盟会議 随時

(2) 主催事業および団体関連の保険加入

【内 容】主催事業および団体での保険加入

【備 考】

- ①年間契約（対象：主催大会・講習会／更新月：10月）の事業傷害保険を更新。
- ②役員、委員会委員および事務局のスポーツ安全保険（傷害、賠償責任）更新。
- ③団体賠償責任保険を更新。

5. 2025年度特別事業

(1) 全国レクリエーション大会協力事業

【事業名】第79回全国レクリエーション大会 in あいち

スポーツ・レクリエーション交流大会 キンボールスポーツ

【場 所】メディアス体育館おおぶ（大府市民体育館）

【期 日】11月2日（日）

【備 考】主催：（公財）日本レクリエーション協会ほか

主管：愛知県キンボールスポーツ連盟

(2) 日本代表チーム関連事業

【内 容】次期国際大会に向けた代表チーム体制の構築及び協賛金獲得業務の拡充

【備 考】

- ①代表チーム指導者体制を確立し、チーム強化スケジュールを構築する。
- ②協賛金獲得に関する業務を強化する。
- ③上記に付随する任務、業務。

(3) 指導者資格制度移行事業

【内 容】2022年度からの指導者資格制度の変更、移行に関しての周知およびその対応

【備 考】2020年度からの継続事業

(4) 専門的知識習得事業

【内 容】発育発達、栄養学、トレーニング論、メンタルトレーニング等外部講師による専門的講習会を実施

【備 考】2025年度参加対象：指導者資格の有資格者等、当団体役員および委員会委員

（５）スポーツ推進委員等への普及推進事業

【内 容】

生涯スポーツとして取り入れてもらうため、スポーツ推進委員、総合型地域スポーツクラブなどに向けて講習会の開催および指導者の派遣

【場 所】 全国

【備 考】 加盟団体と協働して実施。

（６）教員への普及推進事業

【内 容】 授業への取り入れ、サークルおよびクラブ発足に向けた教員向け講習会の開催

【場 所】 全国

【備 考】 協力団体と協働して実施。

（７）教本の制作事業

【内 容】 指導者、レフリースおよびプレーヤーに向けた教本を制作

【備 考】 ※独立行政法人日本スポーツ振興センター令和 7 年度（2025 年度）スポーツ振興くじ助成事業申請中

（８）キンボールスポーツの新しい普及分野開拓事業

【内 容】 キンボールスポーツを通じて社会的課題に取り組む事業の開拓

【場 所】 全国

（９）ガバナンス強化事業

【内 容】

スポーツ庁作成のスポーツ団体ガバナンスコードを遵守し、スポーツ・インテグリティの保護・強化ができるよう、組織運営等に必要な規程、制度を整備し、適切な組織運営を確保する。あわせて、コンプライアンス研修、ガバナンス強化の研修会等を実施し、知識・知見を深める。「情報セキュリティ」「ハラスメント」「コミュニケーション」等のテーマ中心に役員、委員会委員、事務局等に向けてコンプライアンス教育を継続的に実施する。

【備 考】 ※独立行政法人日本スポーツ振興センター令和 7 年度（2025 年度）スポーツ振興くじ助成事業申請中

（10）データ等情報の一元管理事業

【内 容】

当連盟の業務に適応したシステム、ツールを導入し、業務の効率化、情報の適正な管理、情報伝達の正確性向上を図る。

【備 考】 2025 年度早期での導入を目指し、検討を行う。